

【アサヒ飲料株式会社】食品ロス削減・リサイクルに向けた取組

<商慣習の見直し（賞味期限表示の大括り化）>

2020年までに賞味期限8ヵ月以上の缶、PETボトルおよび賞味期限12ヵ月以上の全商品で年月表示へ移行。
賞味期限7ヵ月（210日）商品について「年月表示」を検討し、対応可能なものから「年月表示」化へ移行。

<食品ロス削減・食品リサイクルの取組>

製造時に発生するコーヒー粕と茶粕の有効利用を推進

2011年8月より消費財流通業界の企業が主体となって立ち上げた「日本TCGF」に参加。

2013年5月より賞味期限表示に関連する食品ロス削減を目的として、賞味期限を「年月日表示」から「年月表示」へ移行することに取り組んでいる。

2020年までに、賞味期限8ヵ月以上の缶、PETボトルおよび賞味期限12ヵ月以上の全商品で移行が完了した。

現在、賞味期限7ヵ月（210日）商品について「年月表示」を検討し、対応可能なものから「年月表示」化へ移行をすすめています。

食品リサイクルのため、コーヒー粕をバイオマスエネルギーの原料としたり、茶粕を乳牛用の混合飼料として活用。2021年からは茶粕などを使った肥料の一部を工場近隣の小中学校に寄付し地域の環境保全に貢献。

[関連ウェブページ]

<https://www.asahiinryo.co.jp/csv/eco/>

[お問い合わせ先]

アサヒ飲料株式会社CSV戦略部（0570-005112）

